

水戸駅への新規出店を機に 全6店にオーダーリングシステム導入



▲(株)ショット
代表取締役 茅根正人氏

JR水戸駅直結の商業ビルに 2017年7月新店オープン

「ドレミ」ブランドでカラオケボックスを茨城県下で6店舗展開する(株)ショット(本社:茨城県日立市、代表取締役茅根正人氏)は、2017年7月オープンの「ドレミ水戸OPA店」(24室)に(株)スターランドの「スーパースターシリーズ」のPOSシステムとオーダーリングシステムを導入した。また水戸OPA店のオープンに合わせ、既存5店舗でも他社のシステムからスーパースターシリーズへ切替えを実施した。

JR水戸駅直結の商業ビル「水戸OPA」への出店と既存店のPOSシステム刷新ならびにオーダーリングシステムの全室導入はかなりの投資額となったが、各店舗の運営効率化を図るためにも導入は不可欠と判断し、設置に踏み切った。同社代表取締役茅根正人氏は、次のように語る。

「オーダーリングシステムの導入にあたっては、従来通りテーブルにメニュー表がなければ追加オーダーはしてくれないのではないかと。またスタッフとのコミュニケーションがなければリピーターになってくれないのではないかなど、懸念材料はありました。しかし、インターフォンの

場合、場が盛り上がっている最中に席を立ててインターフォンまで歩いて行かなければならず、オーダーしたいタイミングでオーダーできないことがよくあります。オーダー端末機がテーブルにあれば、すぐにオーダーできますので追加オーダーがしやすくなります」。

オーダー端末機の設置は、「インターフォンで呼び出しても、なかなか出てくれない」など客の不満を解消するだけではなく、オーダーしやすくすることで客単価アップにつながる。さらに外線電話やインターフォンへの対応に加え、調理、客室へのデリバリーなど複数の業務をこなさなければならないスタッフにとって、飲食の受注業務から解放されることによるメリットは大きい。実際、飲食の受注業務が大幅に軽減されることで、そのぶん他の業務に専念できるため、フロントでの接客や調理、デリバリーなど一連のサービス向上につながっているという。水戸OPA店では飲食オーダーのほとんどがオーダー端末機によるもので、導入によるメリットを実感している。

新しいシステムの導入に際しては現場スタッフの理解、協力は欠かせないが、既存店へのオーダーリングシステムの導入にあたっては当初、「シニアのお客さま



▲水戸OPA店にはプロバスケットチーム「サイバーデザイン茨城ロボッツ」のコンセプトルームを設置

はオーダー端末機を使えないのではないかと」といったネガティブな意見が現場から寄せられ、導入に慎重なスタッフがいたのも事実。既存店ではシニアの来店も多く、タッチパネル式のオーダー端末機に馴染めないという懸念からだ。しかし実際に運営がスタートすると、スタッフによるオーダー端末機の案内を繰り返し丁寧に行なうことで徐々に認知され、現在ではオーダー端末機で注文を行なうシニア層も増えてきている。

「お客さまの笑顔のために」を理念に掲げ、カラオケ事業を主力に訪問看護事業、外食事業など多角的経営を推進するショット。カラオケ事業については大手チェーンとの差別化を図りながら、水戸OPA店を足掛かりに水戸市以南への出店も積極的に行なう計画だ。



▲「ドレミ」6店舗、全108室にオーダー端末機を設置している



▲POSシステムも全店舗でスーパースターシリーズに統一し、業務の効率化を推進

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温泉施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ
(株)スターランド

[本社] 静岡県藤枝市青木3-14-1

[東京オフィス] 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-21

[大阪オフィス] 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-24

☎ 0120-007-009

FAX ▶ 054-644-5034

URL ▶ <http://www.starland.co.jp>